

第3学年「てつがく創造活動」学習指導案

授業者 河合 紗由利

2月14日（金） 3階C室 9:50～10:50（ともに学ぶ ～個と協働の往還～ 部会）

1 活動名 みんなとやってみよう

2 活動について

2学期までのプロジェクト型活動では、学期ごとに自分のやりたいことを見つけ、学級の枠を超えてプロジェクトのグループ（以下 PJ）を設定してきた。子どもたちそれぞれがやりたいことを提案し、その提案をお互いに見合いながら活動内容を決めた。自分では決められないという子もいたが、他者の提案を聞いてやりたいことを選んで決めることができた。発表に対しても意欲的で、どうやったら自分たちがやったことをわかってもらえるのか子どもたちなりに工夫しようとする様子が見られた。一方で、残り時間を意識して見通しを持って取り組むことは難しく、直前に時間が足りなくなり、朝の活動の時間などをプロジェクト型活動の時間に変えたことがあった。

3学期は、学級ごとに PJ を設定し進めることにした。2学期まで一緒にやっていたからまた同じメンバーでやるということができなくなることで、改めて自分のやりたいことが何かを問いなおすきっかけにしてほしいと考えている。また、発表会に向けた計画など、これまで教員から提示されてきた事柄を子どもたちで話し合って決めるように促していきたい。学級で活動することによって、使える場所が限られるようになり、活動の規模が小さくなることが考えられる。子どもたちの活動にとって制約となれる事柄を自分たちで工夫して乗り越えていくことも期待したい。

1 単位時間の使い方は、それぞれの PJ ごとに活動を進め、片付けをしてからふり返りという流れを基本としている。学級全体で共有したいことや話し合いたいことがあった場合には、片付けの後に全員で集まって話し合う時間を設定している。本時は、3学期の活動時間のうち約半分を終え、終盤に差し掛かっている。発表会に向けて話し合うことが出てきている場合が考えられる。残り時間の見通しを示しつつ、自分のやりたいことと、学級全体が納得できるように話し合いが進められるように促していきたい。

3 学習活動計画（14時間目／全22時間）

- 第1次 やりたいことを考えよう … 3時間
- 第2次 やってみよう … 本時 11 / 13時間
- 第3次 伝えよう … 6時間

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

- ・活動の見通しを持って取り組むことができる。
- ・相手の気持ちを想像しながら話し合うことができる。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1. 活動	・時間の見通し、教室の使い方などを確認する。 ・安全面については不安な点ははっきり指摘するが、基本的には見守る。 ・全員で話し合うことと、担当者だけで話し合うことを整理しながら進める。 ・話し合いの内容についてもふり返るように声をかける。
2. 片付け	
3. 話し合い *話し合いの必要な事柄があった場合に実施する。	
4. ふり返り	

*子どもたちの活動の詳細は、当日の資料にてご確認ください。